

平成25年度 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

事業報告会資料

平成25年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金事業報告会

- P 1 ~ 3 実績報告一覧
- P 4 ~ 7 収支決算一覧
- P 8 篠町自治会町づくり推進会
「唐櫃越えハイキングコース整備」
- P 9 ~ 12 Office Com Junto(オフィス・コン・ジュント)
「外国にルーツを持つ在住家族との交流と支援」
- P 13 ~ 16 ゲストハウス藤原邸
「世界の人に教えたい日本料理」
- P 17 ~ 20 介護相談リンクす
「亀岡市の介護サービスを紹介した冊子の配布事業」
- P 21 ~ 24 てくてくと遊ぼう会
「えのぐの森-大きな絵を描こう！-」
- P 25 ~ 28 NPO法人亀岡子育てネットワーク
「0・1・2歳親子room COCOいく」
- P 29 ~ 32 NPO法人ブルーイーグルス
「安心安全パトロール事業」
- P 33 ~ 37 アニマルネットワーク亀岡
「ペットの終生飼育と命に優しい街づくり」
- P 38 ~ 41 障害児支援団体キッズ・バリアフリー
「キッズ・バリアフリー」
- P 42 ~ 45 NPO法人プロジェクト保津川
「第2回ほづがわチャリティファンラン」
- P 46 ~ 47 かめおかまちの元気づくりプロジェクト
「亀岡まちづくり市民活動情報パンフ『亀岡まちなび』の制作

§ 亀岡市支えあいまいちづくり協働支援金交付決定事業実績報告一覧

団体名 (代表者名)	決算額 (円)	交付決定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (成果と効果)	実施期間	実施場所	参加人数
てくてくと遊ぼう会 (綿引 恒平)	128,171円	100,000円	市民活動・スタート事業	えのぐの森ー大きな絵を描こう！ー	子どもたちの楽しむ力や表現力を発揮できる場をつくるために、長さを変えた5枚のキャンバスをランダムに配置し自由な絵を描いてもらった。後日、その絵を14mの1枚の絵にして展示するとともに、その絵を切り取って、小さな虫を作るワークショップを開催した。	学校や家ではなかなかできない、体いっぱい使って絵を描く、絵の真で遊ぶ体験を子どもたちに楽しんでもらえた。	平成25年7月28日 平成25年8月25日	ガレリアかめおか	7月28日 約75名 8月25日 約65名
障害児支援団体 キッズバリアフリー (末吉 理花)	202,873円	100,000円	市民活動・スタート事業	キッズバリアフリー	障害と診断されながらも障害者手帳交付除外となっている児童が現在の広報活動のため、各種イベントを開催するとともにホームページを開設した。	広報活動の成果もあり、障害者手帳交付除外の児童の現状への理解を進めることができ、会員も当初の5名から30名に増えた。	平成25年8月21日～ 平成26年3月24日	亀岡市内	10月27日 32名 12月23日 47名 2月16日 48名 など
篠町自治会町づくり推進会 (藤田 修)	201,504円	200,000円	市民活動・ステップアップ事業	唐櫃越えハイキングコース整備	亀岡市が行う明智光秀のNHK大河ドラマ誘致活動を側面から支援するため、明智光秀が本能寺に攻め上がる際に利用した唐櫃越えの山道に道標を10か所設置するとともに、山道を荒れている箇所を整備と階段設置を行った。	ハイカーが道に迷わずに眺望を安心して楽しめるようになつた。また、階段の設置によりハイカーの負担を軽減することができた。	平成25年6月29日～ 平成25年12月27日	篠町山本から「みすぎ山」經由京都市西京区との境界まで	延べ94人
Office Com Junto (児嶋 きよみ)	100,762円	100,000円	市民活動・ステップアップ事業	外国にルーツを持つ家族との交流事業として、子どもグローバル・セッションを2回開催したほか、外国につながる子どもをサポートとして月3回、日曜日に日本語の本読み等の指導を行った。	外国にルーツを持つ家族との交流事業として、子どもグローバル・セッションを2回開催したほか、外国につながる子どもをサポートとして月3回、日曜日に日本語の本読み等の指導を行った。	映像や音楽を交えながらの交流を行うことができた。また、日本語の本読みや九九などの指導を通じて家庭で学習していく部分の学力向上を図ることができた。	平成25年10月12日～ 平成26年2月28日	ゲストハウス藤原邸ほか	延べ90人
ゲストハウス藤原邸 (藤原 翠子)	149,116円	100,000円	市民活動・ステップアップ事業	世界の人に教えたい日本料理	草の根国際交流事業の一環として、季節に応じた地場産農産物を使った日本料理づくりを在住及び来日外国人と市民を対象として4回実施した。	参加した外国人と参加者の交流を深めることができた。また、実施する地域内の活性化にも寄与しており、ラジオ体操などの地域を巻き込んだ新たな展開が生まれつつある。	平成25年6月8日(土) 7月14日(日) 8月3日(土) 12月29日(日)	ゲストハウス藤原邸	6月8日 10名(3名) 7月14日 17名(7名) 8月3日 6名(1名) 12月29日 70名(20名) 括弧内は外国人人数

§ 亀岡市支えあいまいまづくり協働支援金交付決定事業実績報告一覧

団体名 (代表者名)	決算額 (円)	交付確定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (成果と効果)	実施期間	実施場所	参加人数
介護相談リ ンクす (仲 奈々子)	312,350円	200,000円	市民活動・ ステップ アップ事業	亀岡市の介護 サービスを紹介し た冊子の配布事 業	亀岡の介護サービスを紹介し た冊子の増刷、追加資料の作 成を行うとともに、資料を活用 した介護サービス相談会を開 催した。	相談活動の増加につ ながっている。特にこ れまであまり反応が無 かった地域からも相談 会の要望が出てくるよ うになってきている。	平成26年7月5日～ 平成27年3月18日	市内各地域	相談活動での配布 735冊 その他活動での配 布 300冊 メンバーの個人配 布 210冊
NPO法人 亀 岡子育てネッ トワーク (田中 美賀 子)	611,500円	200,000円	市民活動・ ステップ アップ事業	0・1・2歳親子 room COCOい く	親子のふれあいの大切さが将 来の人間像に大きく影響する ことを保護者へ伝えるために、 ふれあい方や遊び方を伝える とともに保護者の交流の場づく りを行った。	子育てに不安を持つ 母親の悩みを解消し、 不安を自信に変えるこ とができた。結果的に 定員を超える申し込み があり、本事業の必要 性を再認識した。	平成26年5月16日～ 平成27年3月31日	ふらっとHOUSE	計48回開催 延べ365人参加
NPO法人 ブ ルーイーグル ス (田中 義雄)	157,269円	100,000円	市民活動・ ステップ アップ事業	安心安全ハットロ ール事業	毎月1日の夜間ハットロール及び 児童の登下校時見守り活動を 継続実施するとともに、青色回 転灯搭載車両による巡回ハット ロールを実施している。また、 亀岡大踊り大会では、交通規 制への協力をし、大会の円 滑な実施に寄与した。	継続的な見守りやハット ロールの実施により暗 がりになったむろする青年 の減少、通行する車 両の交通マナーの向 上につながった。	平成25年6月1日～平 成26年2月27日	亀岡市内	毎月1日の夜間ハット ロール 平均15名 平成25年8月6日 23名
アニマルネット ワーク亀岡 (畑 初美)	149,239円	100,000円	市民活動・ ステップ アップ事業	ペットの終生飼育 と命に優しい街づ くり	ペットの終生飼育を呼びかけ、 命の尊さを学ぶために同行避 難に関する講演会を開催し、 併せて写真展を開催し広報活 動を行った。動物に関する相 談への対応を行った。	講演会は満席となり、 ペット問題の関心の高 さを再確認することが できた。また、動物に 関する相談を受けるな ど活動の幅の拡大に つながった。	平成26年5月～ 平成27年3月	ガレリアかめおかほか	講演会 33名 動物相談 6件
NPO法人 ブ ロジェクト保津 川 (坂本 信雄)	1,596,128円	700,000円	企画提案・ 市民提案 事業	第2回ぼづがわ チャリティファン ション	ランニングイベントの開催を通 じて、亀岡の魅力発信をはか るとともに、その収益金を保津 川の環境保全活動支援に寄 付することで、活動資金確保 の仕組みづくりを行った。	台風18号による大き な被害があったが、前 回よりも多くの参加者 があった。また、寄付 金額やボランティア数 なども目標を上回る数 となった。	平成25年12月1日 (日)	保津大橋周辺の保津川河 川敷一帯	参加者:358人 ボランティアスタッ フ:66人

§ 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付決定事業実績報告一覧

団体名 (代表者名)	決算額 (円)	交付決定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (成果と効果)	実施期間	実施場所	参加人数
企画提案・行政協働事業 かめおかまの元気づくりプロジェクト (松尾 清嗣)	473,691円	473,000円	企画提案・行政協働事業	亀岡まちづくり市民活動情報パンフ「亀岡まちなび」(仮称)の制作	地域の課題解決に向けた、市民活動団体(18団体)の取り組みにスポットを当てた活動事例集(情報パンフレット)を作成した。	様々なジャンルにまたがる市民活動団体の事業や活動内容が一目でわかる印刷物を作成することができ、市民活動団体の広報活動への寄与ができた。	平成26年11月27日～ 平成26年3月31日	亀岡市内	パンフレットへの紹介 団体数 18

平成25年度 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業収支決算一覧 単位(円)

	団体名	てくてくと遊ぼう会		障害児支援団体 キッズバリアフリー		篠町自治会 町づくり推進会	
	項 目	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収 入	協働支援金	100,000	100,000	100,000	100,000	200,000	200,000
	自己資金	14,500	22,671	241,600	3,123		1,504
	事業収入等	15,000	5,500		99,750		
	寄付金						
	合 計	129,500	128,171	341,600	202,873	200,000	201,504
支 出 (対象経費)	報償費				8,000		
	人件費					120,000	108,000
	旅費	10,000	1,720		23,800		
	消耗品費	55,000	67,583		67,498	60,000	93,504
	印刷製本費	10,000	4,780	41,600	8,810		
	通信運搬費	10,000	5,840				
	保険料	5,000	2,500		5,658	20,000	0
	使用料及び賃借料	30,000	45,748		28,872		
	飲食費	0			3,420		
	手数料				100		
	広告宣伝費	2,500	0		6,315		
	委託料			300,000	50,400		
	備品購入費						
	間接経費						
	計	122,500	128,171	341,600	202,873	200,000	201,504
支 出 (対象外経費)	人件費						
	旅費						
	消耗品費						
	飲食費	7,000					
	使用料及び賃借料						
	負担金等						
	手数料						
	通信運搬費						
	委託料						
	その他						
	計	7,000	0	0	0	0	0
合 計		129,500	128,171	341,600	202,873	200,000	201,504

	団体名	Office Com Junto		ゲストハウス藤原邸		介護相談リンクス	
	項 目	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収 入	協働支援金	100,000	100,000	100,000	100,000	200,000	200,000
	自己資金	100,000	762	155,000	11,616	32,400	49,350
	事業収入等			30,000	37,500		63,000
	寄付金						
	合 計	200,000	100,762	285,000	149,116	232,400	312,350
支 出 (対象経費)	報償費	100,000	61,000	90,000	70,000		12,000
	人件費			12,000			
	旅費						
	消耗品費	50,000	39,762	100,000	77,616	8,000	17,347
	印刷製本費			25,000		140,000	163,690
	通信運搬費	30,000					
	保険料			10,000	1,500		
	使用料及び賃借料	20,000				2,000	2,113
	飲食費						
	手数料						
	広告宣伝費						
	委託料			18,000		50,000	70,000
	備品購入費						
	間接経費						
	計	200,000	100,762	255,000	149,116	200,000	265,150
支 出 (対象外経費)	人件費						
	旅費						5,000
	消耗品費					30,000	5,000
	飲食費			12,000			7,000
	使用料及び賃借料			18,000			500
	負担金等					2,400	2,400
	手数料						
	通信運搬費						
	委託料						27,300
	その他						
	計	0	0	30,000	0	32,400	47,200
合 計		200,000	100,762	285,000	149,116	232,400	312,350

	団体名 項 目	NPO法人 亀岡子育てネットワーク		NPO法人 ブルーイーグルス		アニマルネットワーク亀岡	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収 入	協働支援金	200,000	200,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	自己資金			196,540	57,269	128,865	49,239
	事業収入等	472,000	411,500				
	寄付金						
	合 計	672,000	611,500	296,540	157,269	228,865	149,239
支 出 (対象経費)	報償費	36,000	11,137			15,000	37,000
	人件費	271,200	261,600				
	旅費	25,600	20,240				
	消耗品費	179,000	150,669	65,920	115,892	51,000	
	印刷製本費	40,000	47,663			88,000	63,000
	通信運搬費						640
	保険料	2,000		65,900			
	使用料及び賃借料	40,200	40,300	50,000		19,110	13,508
	飲食費						
	手数料				26,250		
	広告宣伝費					55,755	28,591
	委託料	30,000					
	備品購入費						
	間接経費						
	計	624,000	531,609	181,820	142,142	228,865	142,739
支 出 (対象外経費)	人件費	20,000	26,000				
	旅費						
	消耗品費	28,000		114,720	9,294		6,500
	飲食費		53,891		1,568		
	使用料及び賃借料						
	負担金等						
	手数料				735		
	通信運搬費				3,530		
	委託料						
	その他						
	計	48,000	79,891	114,720	15,127	0	6,500
合 計		672,000	611,500	296,540	157,269	228,865	149,239

	団体名 項 目	NPO法人 プロジェクト保津川		かめおかまちの元気づくり プロジェクト	
		予算	決算	予算	決算
収 入	協働支援金	700,000	700,000	473,000	473,000
	自己資金	867,000		10,000	691
	事業収入等	925,000	790,628		
	寄付金	50,000	105,500		
	合 計	2,542,000	1,596,128	483,000	473,691
支 出 (対象経費)	報償費	180,000	61,000		
	人件費	260,000	240,000	120,000	121,000
	旅費			30,000	41,690
	消耗品費	480,000	239,467	10,000	5,501
	印刷製本費		85,360	250,000	250,000
	通信運搬費	45,000	21,607	10,000	
	保険料	30,000	20,080		
	使用料及び賃借料	297,000	268,892	10,000	12,500
	飲食費				
	手数料				
	広告宣伝費				
	委託料	370,000	308,987		
	備品購入費	200,000			
	間接経費	100,000	30,000	43,000	43,000
	計	1,962,000	1,275,393	473,000	473,691
支 出 (対象外経費)	人件費				
	旅費				
	消耗品費				
	飲食費	80,000	20,000	10,000	
	使用料及び賃借料				
	負担金等	500,000	300,000		
	手数料		735		
	通信運搬費				
	委託料				
	その他				
	計	580,000	320,735	10,000	0
合 計		2,542,000	1,596,128	483,000	473,691

亀岡の住民ら「本能寺攻めの道」整備

「唐櫃越」歩きやすく



唐櫃越の山道に道しるべを立てる篠町自治会町づくり推進会のメンバーら(亀岡市篠町)＝亀岡市提供

亀岡市篠町と京都市西京区をつなぐ山道で、明智光秀が本能寺へ向かう際に進軍したとされる「唐櫃越」の散策ルートを、地元住民らが道しるべを立てるなどして整備した。住民らは「歴史に興味を持つ人々を多く招き入れたい」と、新たな観光ルート化を期待している。

亀岡市側は「篠町自治会」が担当した。自治会町づくり推進会が、京都市側は亀岡在住の元京都市職員らでつくる「京都市西京区・亀岡市都市交流協力

の台風18号の影響など分岐が多いことから道が削られている場がある。昨年9月所が複数あった。2回

体は両市の交付金を活用し、亀岡市のJR馬堀駅から京都市西京区の西芳寺(苔寺)までの計15カ所に、矢印を記した道標を設置した。深くえぐれた道には新たに迂回路を作った。

篠町まちづくり推進会の岡野宗志・歴山観光部長(70)は「週末に府外から訪れる人も増え、ききおり、唐櫃越をにぎわいつくりたい」と話し、今後はイベント開催なども検討するという。

唐櫃越は古くから山陰道の問道として知られ、標高300～400mの尾根沿いを進む約10kmの山道。1582年の旧暦6月2日未明、亀山城を出発した明智光秀が軍勢を率いてこの道を通り、本能寺に向かったという説がある。

(久保田昌洋)

観光ルートに期待





H25.9.13 亀市

市内に住む外国人
のための日本語教
室が今月から
始まった。毎
週日曜午前に
余部町のガレ
リアかめおか
で催されてお
り、現在、8
人が学んでい
る。

亀岡国際交
流協会と日本
語サポーター
の会などが主
催。市民のボ
ランティアグ
ループである
同会は、今年
5月から7月まで南
丹市を会場に開かれ
た「日本語支援ボラ

国際交流協会と日本語サポーターの会 在住外国人のための 日本語教室スタート



日本人スタッフらと話す市内在住の外国人ら（余部町で）

日本語を話すことはでき
ない人から、20年近
く生活している人ま
でと語学力はまちま
ちだったが、レベル
に合わせて日本人ス
タッフから学んだ。
教室は定員12人
で、途中からの参加
も可。第1期として
計10回（11月17日ま
で）を予定している
が、続けて翌週から
参加した第2期もスタートす
る。参加料は10回分
のほかに、同時に日本人の
スタッフも随時募集
している。

がうまく
伝わらな
いことが
あったと
いう。

1日に
あつた開
講式と初
回講座に
参加した
のはフィ
リピンか
らの3人
のほか、
ネパ
ル、アメ
リカ、メ
キシコから各1人。
中には正規の学習をし
ていないことから、日
本語を習得した人の
来日してまだ数か月で
来日してまだ数か月で
来日してまだ数か月で

【西万意生】

7月15日(日) 京都新聞

第3種郵便物認可 京 都 市 日 吉 町 2013年(平成25)

外国人つるっ!夏祭り

亀岡で日本の食文化を学ぶ教室

地域の住民と流しそうめん

住民や米国・英国人 マーガレット・マンさんら約20人が集まった。この交流会も兼ねて開いたフランス料理のシェフ・長尾淳一郎さん(24)が講師となり、参加者が協力して30人分の流しそうめんを作った。そのほか、名残を惜しんで、生徒

(小池厚弘)

地域住民と外国人が一緒に日本の料理を楽しむ料理教室が14日、亀岡市旭町の「ゲストハウス藤原邸」であった。メニューは夏の定番の流しそうめん。参加者は竹を流れる麺に涼感を味わっていた。

藤原邸では古民家を改装し、宿泊施設やカフェなどに活用している。2カ月に一度、外国人と地元住民の交流を目的に、日本の食文化を学ぶ料理教室を開く。この日は、今月退職する市国際交流員の



流しそうめんを楽しむ参加者たち(亀岡市旭町・ゲストハウス藤原邸)

ただ、昨夏となった川原による外国人観光客増もあり、本年度の乗客数は100万人に達する見込みだ。この間、乗客の半分が社員で乗車しない。区別に

口随想

トロッコ列

時は失意のどん底だった。JRの事業部門の課長から、経営の見通しが厳しい小さな会社へ。でも、悲観していても始まらない。困窮を乗り越え、被災したおもいに入社したと思いつつながら死ねるよつやれるだけやろと覚悟を決め

この大切さを感じる。開業初年度に接守の佐野藤石衛門さんに桜の木を寄付いた。以来、沿線や保津川の対岸にこつこつと植えた桜や紅葉、山ツツシなどは約7千本に上る。鹿や虫に食われても、3千本は残っているだろう

長谷川

いつばいなら。乗車待ちの手品で楽しめ、倉庫からの団。1946年生まれ、JR西京阪線、嵯峨野線、京福線に転出後、希望は8月からの

魚つかみ子ども歓声

南丹市日吉町の道の駅「ゆづり」で14日、「ゆづり夏祭り2013」が開催された。花火や魚つかみ大会などさまざまなイベントがあり、家族連れでにぎわった。同日、同町観光協会の主催で市観光大使のゆるキャラが健



この時、届け

全国高校野球京都大会

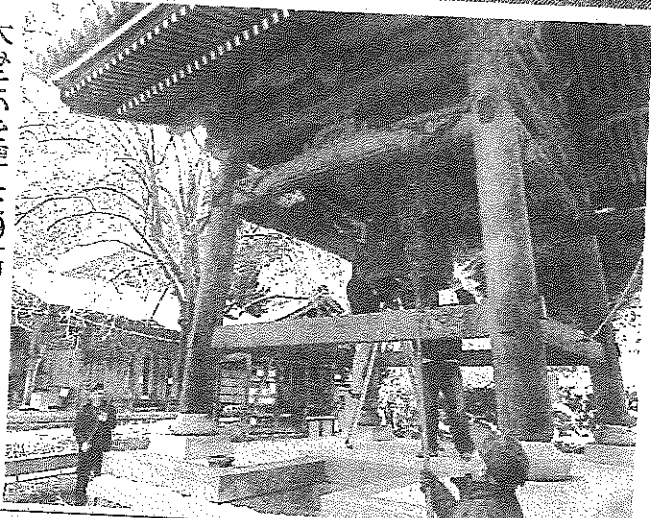
都、宇治市の太陽が丘球場、福知山市の福知山球場で開戦を告げる試合が行われ、熱戦の日も突然の雨で再三の中断や順延を強いられた。集中を切らさず自球を追い、スタンドの応援で二投二打に大きな声援を送った。

朝練の頑張りを

農芸 農業の繁栄や実業と並行して部活動に汗を流してまた選手たちへ、生徒や教員、保護者ら約100人がグラウンドから声を送った。朝練はコート上は

鐘を掲げ 迎春準備着々

八木の京都帝釈天「火の輪」も設置



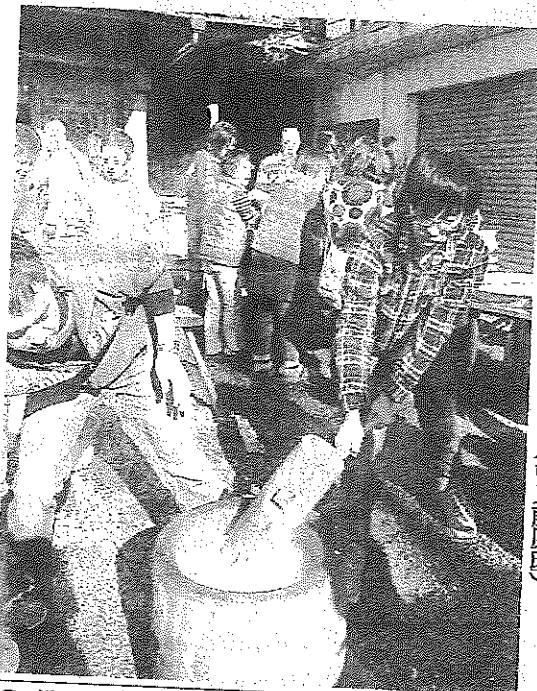
ササで大釣り鐘を掃除する講社員ら（南丹市八木町・京都帝釈天）

く作業にあたっていた。（鈴木雅人）

大みそかを控えた29日、南丹市八木町の京都帝釈天で迎春の準備が行われた。地元の住民たちが除夜の鐘を撞除したほか、参道に並ぶ108基の小型の鐘を一つずつ見て回った。

地元の講社員11人が参加した。先端にササをくくりつけた竹を使い、除夜の鐘に大釣り鐘のほこりを払った。

留学生らペッタン！



餅つきを体験する台湾人留学生ら（亀岡市旭町・ゲストハウス藤原邸）

7カ国・地域の15人餅つき 亀岡

留学生ら外国人と市。留学生らはきねと臼を使った餅つきを体験し、住民たちと出来たての餅をほおばった。台湾やエジプト、

淇陽学校生の14年版 版画カレンダー完成

国 部

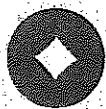
南丹市園部町の府立淇陽学校の生徒が毎年つくっている版画カレンダーの2014年版。ねて毎年カレンダーを

（井上広俊）

んなで協力して出来上がった。カレンダーを通して、私たちが普段どんな生活をしているのか知ってもらえたらうれしい」と話した。後援会の「あすなろ会」や府庁などに向けて53部を刷り、1部ずつ感謝の気持ちを込めて送り届けた。

米国など7カ国・地域の外国人15人をはじめ約90人が参加した。外国人たちは、「もういちっちょ」などの合いの手に合わせ、きねを振り上げ、餅をついた。初めてきねを持った京都学園大3年の梁素翔さん（21）は「思ったより難しく、腕に力を入れるより体全体を使った方がいい」と教えてもらった。日本の伝統文化を体験できて面白い」と話した。餅をせんざいなどで味わったほか、女子留学生も着物を着て参加するなど、それぞれ日本の風習を楽しんだ。

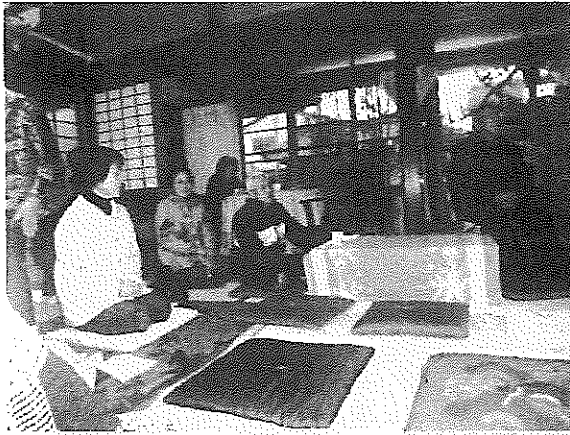
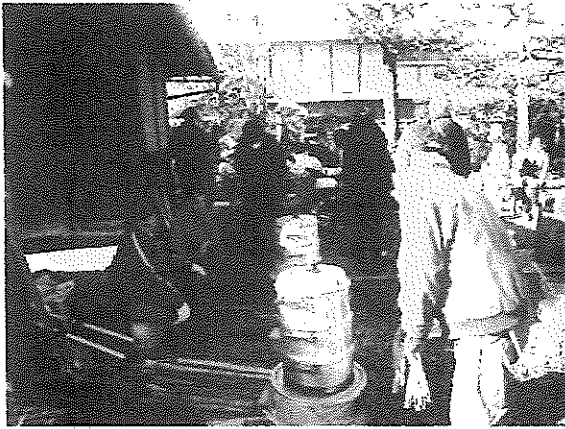
（鈴木雅人）

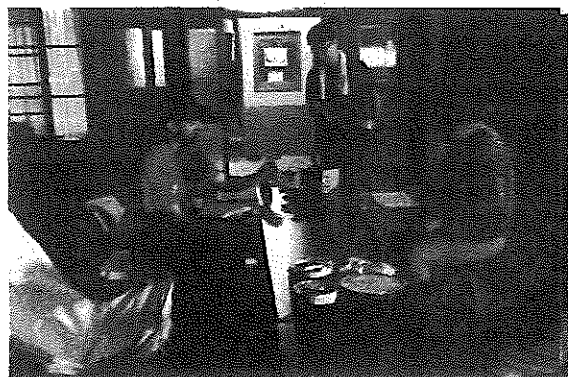
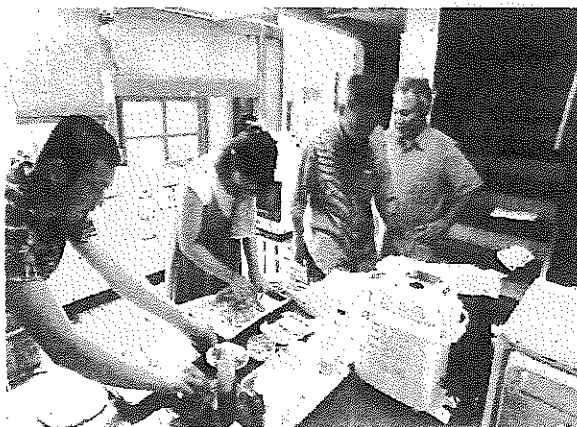


BIOFERMIN
ビオフェルミン

乳酸菌の力で、
おなかに
いいリズム。

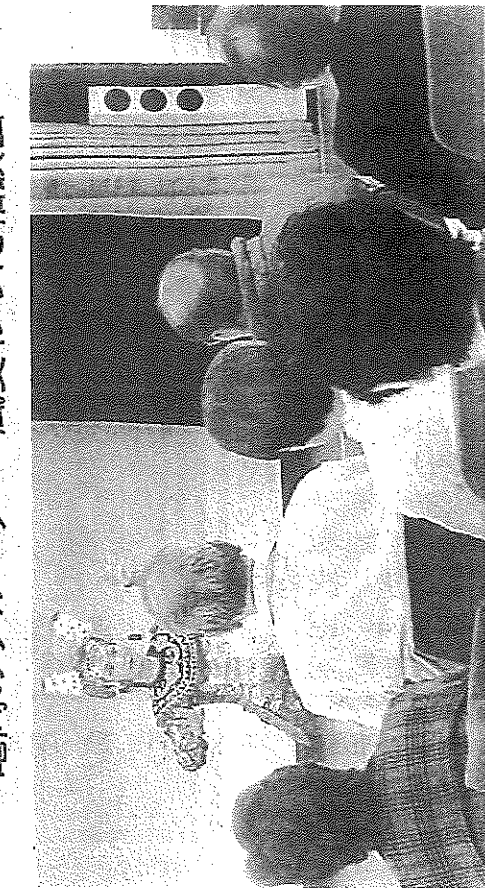
人の腸内には、善玉菌と悪玉菌





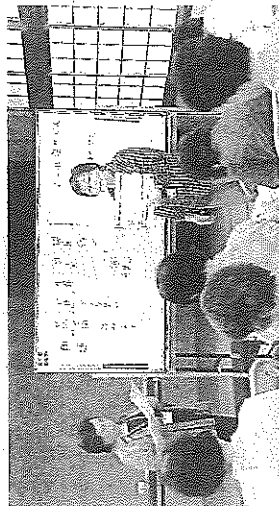
バリ舞踊楽しみ介護考えて

亀岡のグループ一風変わった相談会



介護相談会でバリ舞踊を披露する仲さん(亀岡市西つづじ丘一介護相談リンクを提議)

介護制度について説明するリンクメンバーら(亀岡市保健師・保健文化センター)



落語題材 手描き紙芝居も

気軽な雰囲気 人気

バリ舞踊を見てから、じっくり介護の相談を。亀岡市の「介護相談リンク」の一風変わった相談会が人気を集めている。相談員がインドネシア伝統舞踊で来場者を楽しませ、落語を題材にした紙芝居で笑わせる。「介護の話題は気分が重くなり、制度もややこしくどうしても堅苦しくなる。楽しく介護を考えるようにしたい」と工夫を凝らす。

リンクすは介護事業者と行政、利用者間の橋渡し役を担っており、2010年、市介護相談員の現役と退任者らで結成した。自治会などの相談会のほか、介護サービスを紹介した冊子作りなどに励む。バリ舞踊を担当する仲奈々子さん(40)は、趣味として踊りを習い始めた。10年以上

も購入するなど本格的。宮廷の女官の目々を表現した踊りを披露し、解説を加えるなど、介護と全く関係ない話題で会場を盛り上げる。介護の催しでは女性が多く来るが、バリ舞踊の珍しさが評判を呼び、リンクすの相談会では男性参加者も多いという。紙芝居は「血屋敷」「時そ

ば」といった演目を手描きの絵を使って、メンバーが話を交えながら語り聞かせ、会場を沸かせる。

その後の介護相談では「施設に入りたくても、順番が回ってこない」「入所の費用は」という率直な質問に、メンバーが亀岡の実情に即して回答。参加者からは「気安くて、ずねられる」「分かりやすい」と好評だ。

仲さんは「来てくれた方々と近い関係になるのに、バリ舞踊や紙芝居は効果的。介護制度について多くの人に理解してもらえたらいい」と話す。問い合わせは同会事務局電話090(82334)6944。(久保田豊洋)

介護が必要かな？と思った時に読む本

平成25(2013)年版・亀岡市民用

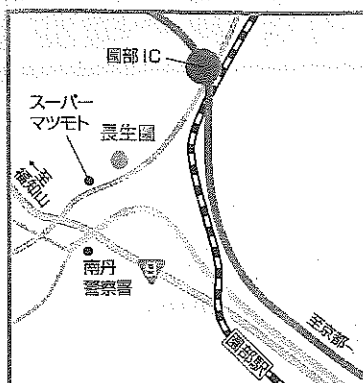
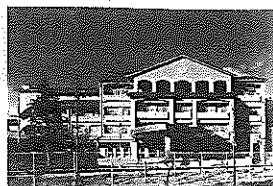
現・元 亀岡市介護相談員グループ

介護相談 リンクす

介護が必要と認められたら利用できるサービス

長生園

昭和31年に船井郡6町・6町社協・仏教会の支援を受けて設立された法人が運営しています。240床あり100名を超える介護スタッフが利用者の心身の安定と自立を目指して支援します。法話会や子ども将棋など各種の催しが盛んです。1階ロビーで毎月2回行われる「喫茶ひまわり」には、100名もの方が参加してコーヒーやケーキを楽しみます。敷地内に診療所もあるので、常勤医師や看護師、協力病院との連携で安心して暮らせます。



南丹市園部町上木崎町坪ノ内19 (園部ICより車で約2分)

☎ 0771-62-0223

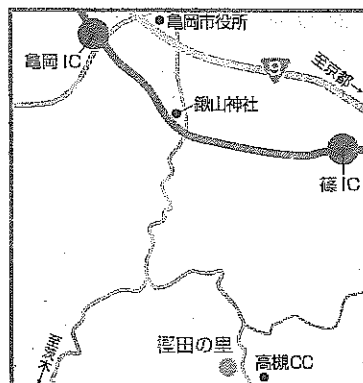
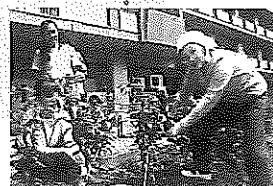
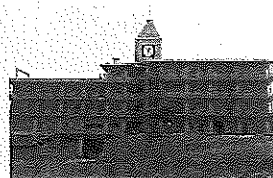
<http://www.choseien.com>

■ その他のサービス

デイサービス、ショートステイ、ケアハウス、グループホーム、ホームヘルプサービス 他

檜田の里

大阪府高槻市の檜田地区に位置し、とんがり帽子の赤い屋根が特徴的で、街中では味わうことのできない豊かな自然に恵まれています。ユニット型全室個室のゆとりある空間と入居者一人ひとりの生活を大切にするケアで「癒し・安心」をお届けします。地域との繋がりを大切にしており、近隣の小学校との交流や、地域の方へ施設の開放を行っています。理学療法士や歯科衛生士による専門的なりハビリや口腔ケアで自立支援を行っています。



高槻市田能畑子谷15-1 (鍛冶山神社より高槻街道を車で約10分)

☎ 072-680-0001

<http://www.kensyokai.or.jp/kashida.html>

■ その他のサービス

デイサービス、ショートステイ

介護が必要かな?と思った時に読む本

この冊子は、「平成25年度亀岡市支え合いまちづくり協働支援金」の助成を受けて制作しました。冊子の制作にあたり、亀岡市および近隣の介護サービス事業所、亀岡市の市民協働課、高齢福祉課の皆様にご協力いただきました事を感謝いたします。

平成24年11月 第1版第1刷発行

平成25年12月 第3版第1刷発行

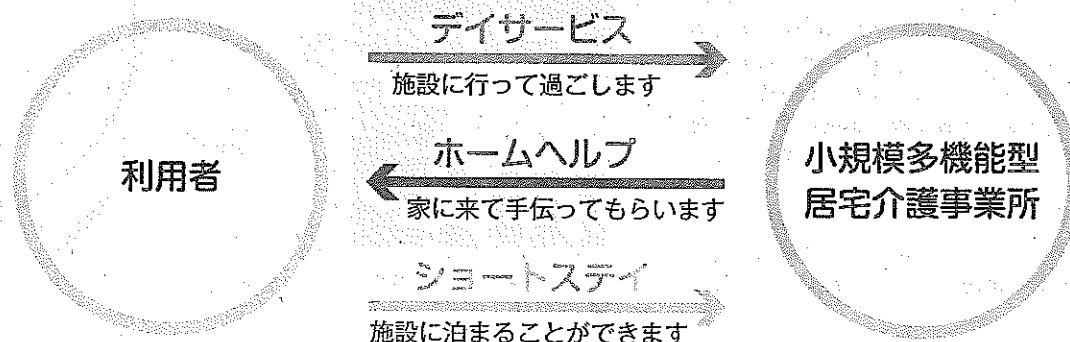
発行：介護相談 リンクス

編集：戸田百合恵・蔭山彰子・大倉康子・八木愛子・堀川道代・吉川好美・仲奈々子

〒621-0805 亀岡市安町釜ヶ前23-9-603 ☎ 090-8234-6944 info@kaigo-soudan.net

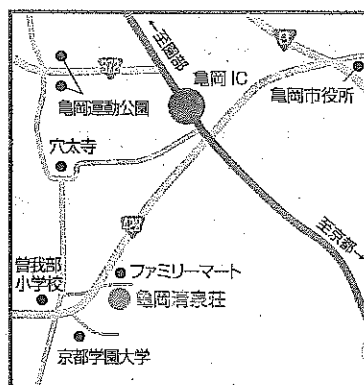
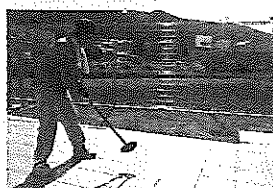
Copyright © 2012 Kaigosoudan-Links All rights reserved. ※本紙の無断転載・複写はご遠慮ください

小規模多機能型サービス(小規模多機能型居宅介護)



亀岡清泉荘

平成25年9月に開設されたばかりの、新しい事業所です。顔なじみのスタッフが創意工夫を取り入れながら、心を込めて生活のサポートをいたします。豊かな自然に囲まれた眺めのいいお庭にテーブルを出してガーデンパーティをしたり、持ち前の趣味を活かして健康麻雀大会やグラウンドゴルフなどを楽しんでいただくこともできます。地域の中の「ほっこりできる空間」「少し離れたはなれ」を目指しています。



曾我部町南条下河原8 (南条局前バス停から徒歩1分)
☎ 22-8239 <http://www.care-community.co.jp>

■ その他のサービス

グループホーム

新型老健(介護療養型老人保健施設)

介護療養型医療施設が廃止に動く中で、登場してきた施設です。通称「新型老健」とも呼ばれ、老健の機能を保持しながらも、医療や看護に重点が置かれ、看護師さんの数が多いため、費用は従来型老健より少し高めです。要介護1以上の判定で利用できますが、実際は医療行為を伴う長期療養が必要で、介護度も重い人が利用できる施設です。

はたごまち(亀岡病院)

旅籠町29
☎ 25-2020

大きな布の自由絵

胸や服や手足にも描く

大きな白い布に子どもたちが自由に絵を描く催しが28日、亀岡市余部町のガリヤかめおかで行われた。布だけでなく、服や手足にも躍動感いっぱいの絵を描いた。

同市篠町の造形教室「こどもアトリエてくてく」がつくったイベント団体「てくてくこども遊ぼう会」が催した。昨年は長さ10以上の布をキャンバスにして初開催。2度目の今年は長さ2〜4以上の3種類の布5枚を使った。

子どもたちは7色の絵の具を薄ぼろ、筆で似顔絵や文字を描いた。友だち同士で互いの体にも絵の具を塗り合いい、絵の楽しさを存分に味わっていた。

作品は8月25日正午

かめおかで展示する。切り取って虫などを同時に、絵の一部をる工作イベントも開催



大きなキャンバスに楽しそに絵を描く子どもたち。亀岡市余部町「ガリヤかめおか」で展示する。

H25.8.9 亀市

50人余参加し「えのぐの森」 子ら全身で「アート」

家や学校では普段で「う！」と銘打った催し
きない体験を！「てを開催。50人余りの子
くくと遊ぼう会」(綿どもたちが体中を絵の
引恒平代表)はこのほ具だらけにしながら、
ど、余部町のガレリア体全体を使って「ア
かめおかで「えのぐのト」を楽しんだ。
森く大きな絵を描こ用意されたカンバス



絵の具を使って子どもたちが
自由に表現した(余部町で)

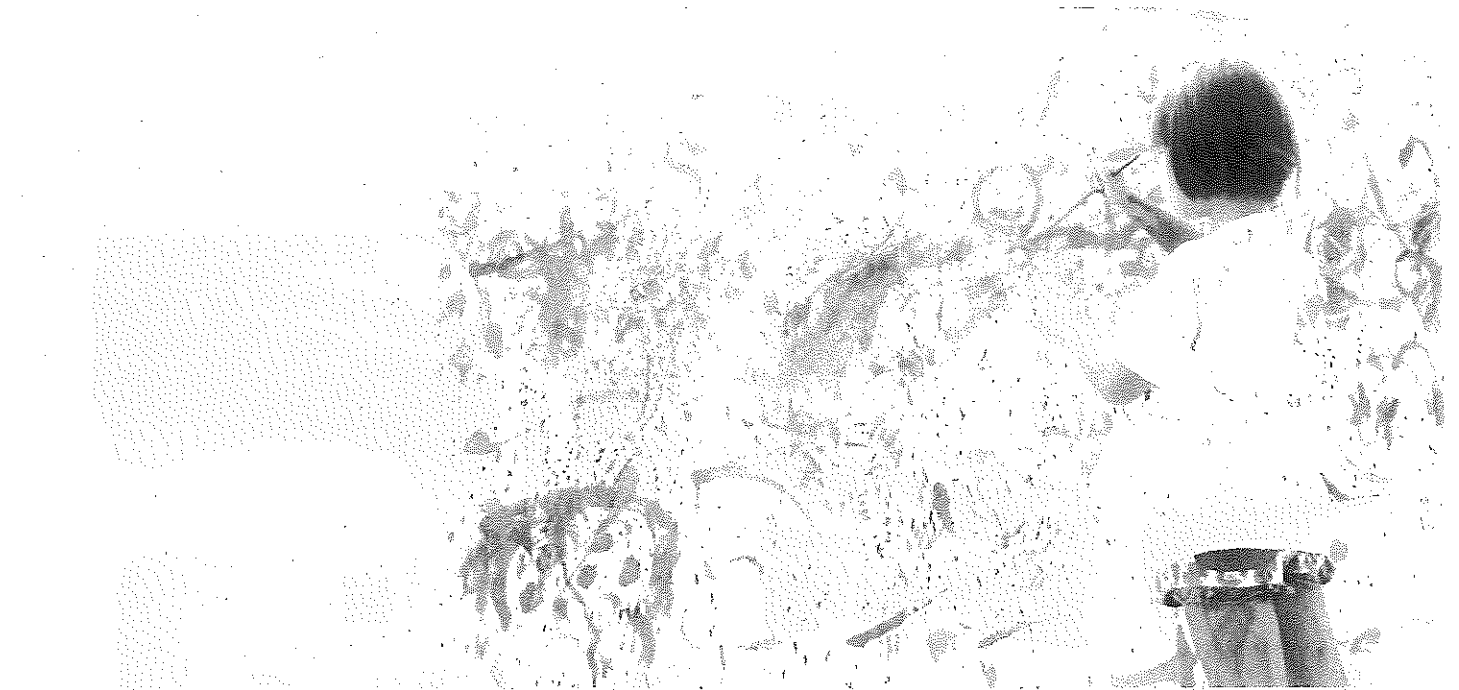
は、高さ1.5
50坪で横幅は
2.5坪から4.5
坪までの計5
つ。布地で表
裏とも絵が描
けるようにな
っている。綿
引さん(31)が
「汚れを気に
せず、今日は
思いっきり楽
しんでくださ
い」と子ども
たちに語りか
けると、白地

のカンバスはみるみる
カラフルに染まった。

この日の作品は、1
つの長い絵にまとめて
8月25日午後と同所で
展示されるほか、同日
は展示している絵の一
部分を切り取り、簡単
な工作も行う。

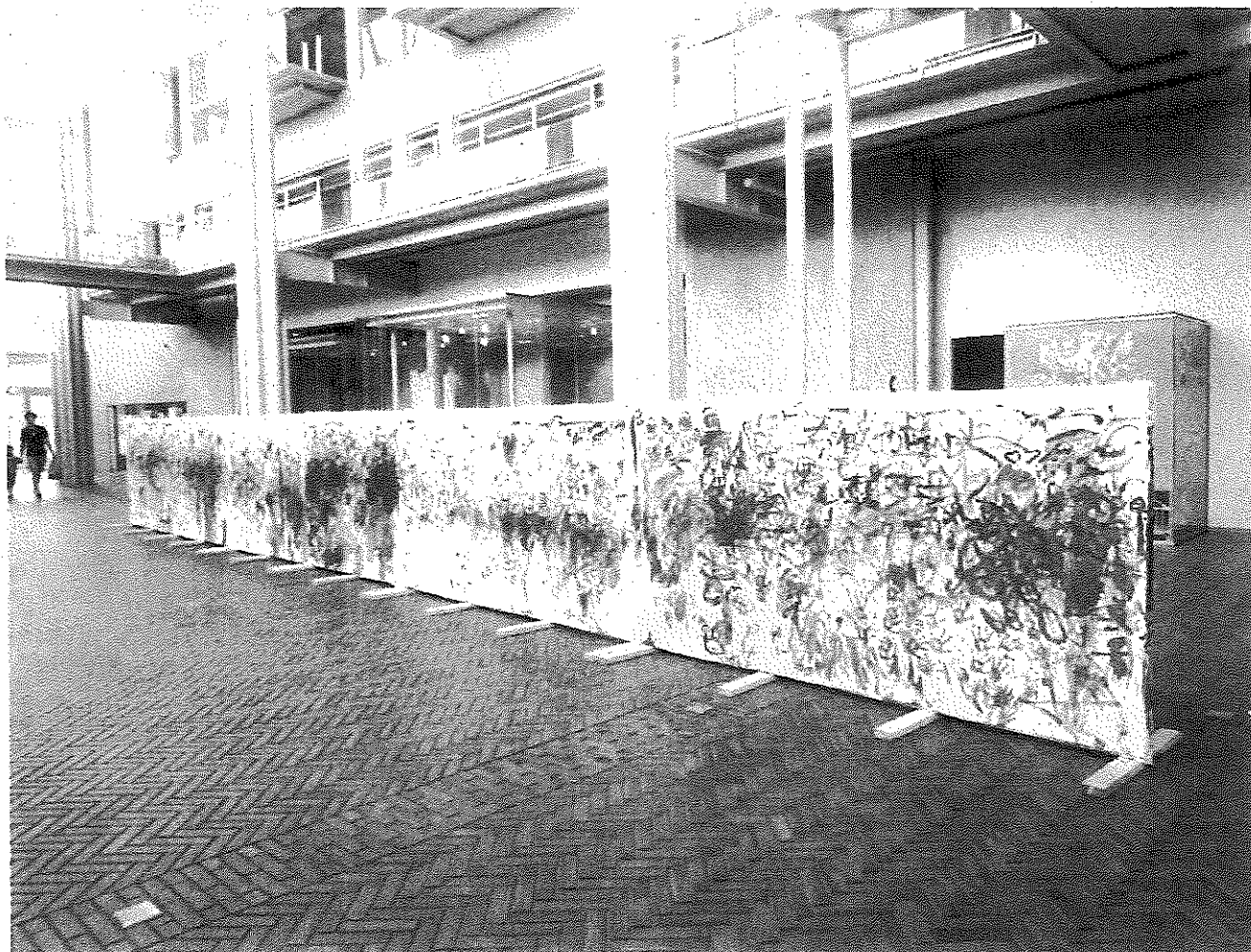
参加無料で予約不
要。時間は正午～午後
4時。

【四万蔵生】



2013・8/25

『えのぐの森』 展示風景



5枚のキャンバスを1枚につなげて長さ14mの1つの大きな絵にしました。

表面



裏面



【ぐっぐくらす】



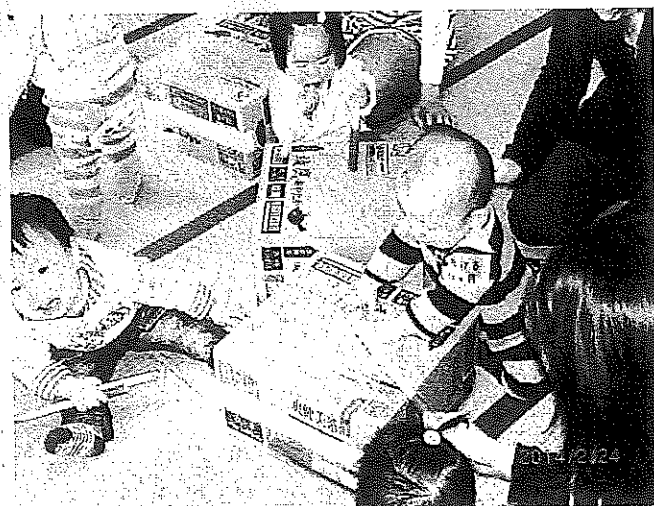
【ちっちくらす】



【ちっちくらす】



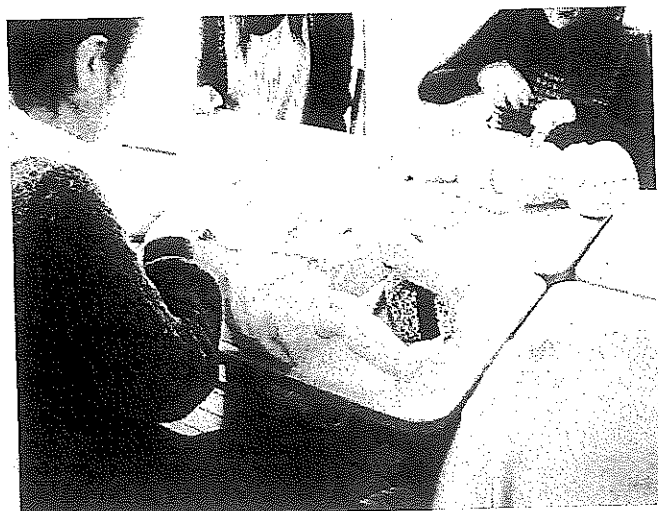
【ぱっぱくらす】



【ドキはぴくらす】



【救急救命のおはなし講座】



【歯のおはなし講座】



H25.8.9 亀市



パトロールに出掛けるメンバーたち（市役所前で）

青パト16台が
防犯一斉巡回
ブルーイーグルス
青色防犯パトロール
車（青パト）で地域防犯
活動に貢献している亀
岡地区の「NPO法人
ブルーイーグルス」（田
中義雄理事長、27人）
が1日、一斉巡回した。
防犯団体・ブルーイ
ーグルスは亀岡地区社
会福祉協議会の傘下団
体。毎月1日には一斉
巡回している。同日午
後7時ごろ、メンバー
が市役所前に集合し、
田中理事長が「安心安

全なまちづくりができ
るよう頑張りたい」と
あいさつ。そろいの紺
のユニフォームを着た20
人が16台に分乗してパ

トロールに出発し、約
1時間かけて夏の夜に
青色の光を放ち、目を
光らせた。

【松本孝樹】

龜岡小・高橋寺
で町守り活動



通同大跡
大会

通同警察署
連携以隊配
活動

本日2名出席
(予備は内18名)



2013/ 8 / 6

通同駅南
大路会場
警察車両供出
青色隊配
点灯で研
隊配活動
依頼



2013/ 8 / 6



2013/ 8 / 6



講演会の内容

講演会は、東日本大震災の被害を受けた福島県内の避難区域から
新潟県の避難所にペット同伴で逃げて来られた方々の写真を見ながら
その避難過程の様子を聞く事から始まりました。



福島県の多くの避難所がペットの受け入れを拒否した事
バスでの集団避難の際にペットと共に乗車できる車両は殆どなかった事
このような厳しい現実においても、人間が多く犠牲になっている災害では
ペットの事を報道するのはタブーとされている事

写真集に綴られているのは、孤独と戦いながら“家族だから一緒に逃げるのは当たり前”と、頑張ってこられた方々の記録です。

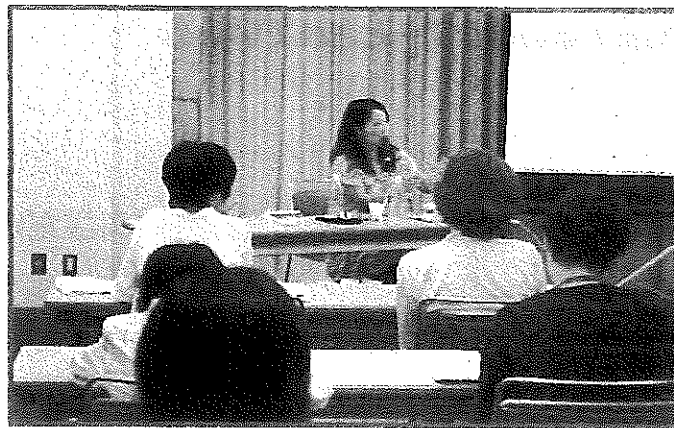
では、新潟県では何故ペット同伴の受け入れができたのでしょうか？

行政の様々な資料をもとに説明されました。新潟県は過去の地震経験から、家族の一員であるペットとの同伴避難が生きる励みとなりその後の人生の希望に繋がる事を知っていました。

そこで、災害時には動物救済本部を立ち上げ、県ない全ての市町村でペット同伴避難者の受け入れ態勢を整えてきました。

具体的には、行政は避難所内でのペットの居住スペースや物資の提供、獣医師会はペットの健康相談、動物愛護協会は飼育相談というように役割分担がされています。

児玉小枝氏は、“ペットはその子が天寿を全うするまで生涯共に生きていく家族なんだ。” “子供やお年寄りと同じくペットも守るべき弱者である。”と、主張されました。



後半は、動物の写真を撮るコツや注意点を教えて貰いました。

講演会の最後には、大阪府動物愛護推進委員の宇治あけみ氏による
“迷子札装着の呼びかけ”もあり、参加者には鑑札や注射済証も入れら
れる迷子札を配布しました。

※講演会の詳細はDVDに収録

動物愛護週間写真展

日時:2013年9月23日(月・祝) 10:00~15:30

場所:ガレリアかめおか 1階 ロビー

内容:事前に、テーマ“ずっといっしょに”

(アニマルネットワーク亀岡の終生飼育プロジェクトのキャッチフレーズ)で
ペットと共生の写真を募集する。

幼児と愛犬の触れ合い

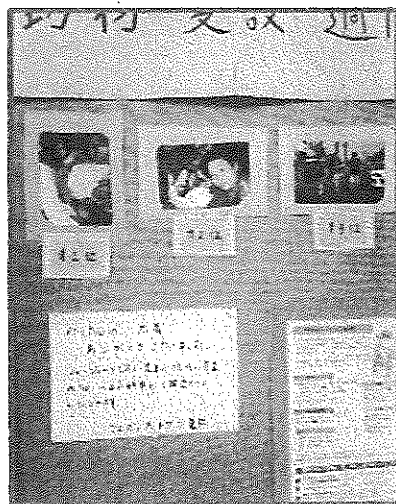
犬と猫の2ショット

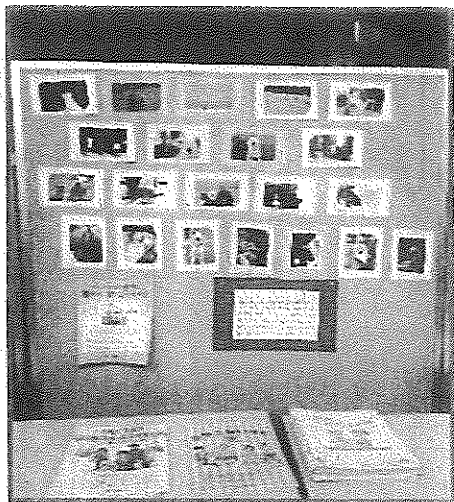
車いすの犬と飼い主

介護状態の犬と家族の2ショット等

28件50枚をこえる写真の中から“同伴避難”の講演会でお世話になった
フォトジャーナリスト児玉小枝氏に1~3位と7枚の入選作品を選抜してもらう。

動物愛護週間の9/23動物愛護週間写真展として10枚の入賞作品を中心に
応募作品を展示。(受賞者にはあらかじめ連絡し賞品の図書カードを取に来てもら
う) ※図書カードは、アニマルネットワーク会計から支払い





次回は是非応募したいとお声かけもいただく



同時開催：犬・猫の写真による譲渡会

ペットショップやブリーダー以外の動物の受け入れ方を広報

当日は、第5回かめおか市民活動推進センターまつりでもあり100名を超える方々が写真を見てくださいました。

支援 児童障害 ぬえもら帳手

難聴児母親ら 団体立ち上げ 亀岡

軽度、中等度の難聴など障害がありながらも障害者手帳が交付されない子どもたちを支援しようと、亀岡市の母親らが支援団体を立ち上げた。手帳のない難聴児が補聴器を買う際の公費助成には地域差があり、同市では全額自己負担。メンバーは「行政に頼るだけでなく、自ら発信、支援することで現状を変えたい」と話している。



末吉理花理事長(右から2人) 中心に設立された障害児支援団体「キッズ・バリアフリー」のメンバー 亀岡市荒塚町

「負担減らしたい」 補助 購入費具装補

補聴器 5年で交換必要

末吉理花さんの長女屈さん(9)。

「亀岡小3年」は、3歳ごろに中等度難聴が判明し、補聴器を使い始めた。両耳で9万円。約5年ごとに買い換えが必要で、電池代も年間1万4千円かかる。

学校では、教師にマイクをつけ、機能付きたと指示が聞き取れ、集めてもらい、それを受信するFMシステム機器を使っている。送信機は、府立聾学校(京都市右京区)から借りられたが、受信機は購入した。

「補聴器を使って何とか授業についていっているレベル。障害のない人でも就職が難しい時代なのに補聴器がつけられたら、言語習得に、障害者手帳のない娘が一般就労などの負担は少なくなる。支援できるかもわからない。でも、団体を通して、悩む親子の助けに医療、維持費は一生かかる」と、

将来の経済的負担に不安を覚え「(久保田昌洋)」

団体名は「キッズ・バリアフリー」。中等度難聴の娘を持つ末吉理花理事長(41)が友人5人に呼び掛け、このほど結成した。手帳が交付されない難聴児に対する補聴器購入費の助成制度は京都市や与謝野町などにあるが、亀岡市などない。自治体も多い。このため、会員が端切れで洋服や小物を製作し、その売り上げで補聴器など補装具購入費を補助する。手帳が交付されない身体、知的、精神の障害がある子ども全般を対象にする。障害児への理解を進めるための絵本作りや相談窓口の設置も計画して6。(久保田昌洋)

あるが、亀岡市などない。自治体も多い。このため、会員が端切れで洋服や小物を製作し、その売り上げで補聴器など補装具購入費を補助する。手帳が交付されない身体、知的、精神の障害がある子ども全般を対象にする。障害児への理解を進めるための絵本作りや相談窓口の設置も計画して6。(久保田昌洋)

障害児支援団体「キッズ・バリアフリー」

精力的に活動拡大へ

立ち上げから8カ月「フリー」(末吉理花理 近くが経つ障害児支援 理事長、約30人)は、活 団体「キッズ・バリア 動の輪を更に広げよう



パン作りを通じて交流を深めた参加者たち (余部町で)

と精力的に活動してい る。これまでに難聴の 障害児と健常者らが集 まった交流イベントを 開催しており、年明け 以降も様々な事業を計 画。「将来は悩みを持 つ人たちが集える場所 を確保したい」と目標 を掲げる。

障害児支援をと 今年5月に発足

軽度・中等度の障害 がありながら、障害者 手帳が交付されない子 どもを持つ市内の母親 らで5月に発足。難聴 の子どもに対し、府内 で補聴器の購入費助成 をしている自治体は一 部で、亀岡市にはまだ 制度がない。こうした

状況の中、自らの行動 で障害児を支援してい こうと、中等度難聴の 娘を持つ末吉理事長 (42)が一念発起して 立ち上げた。

第1弾として10月に は、馬車に乗車したり する「動物ふれあい体 験」を開催。食品アレ

ルギーに対する理解を 深めてもらおうと開い た今年23日のパン教室 では、交流した障害児 と健常者が心温まる時 間を過ごした。来年2 月には陶芸教室を計画 している。

補聴器購入費 支援の活動計画

交流イベントと併せ て、チャリティーバザ ーの収益金で補聴器購 入費を支援する活動も 計画。来年2月上旬に は、ガレリアかめおか で開かれる催しに参加

し、市内の事業所から 寄付のあったハギレの ほか、団体のキャラク ターグッズなどを初め て販売する。

今後の課題について 末吉理事長は、運営費 の工面などを挙げなが らも「性別や年齢を問 わず幅広い方に参加し て頂き、1年後にはメ ンバーを100人にま で増やしたい」と意気 込む。入会などの問い 合わせは末吉理事長 (☎090・3708・7436)へ。

【森川孝則】

1年後にはメンバー100人に！

ごあいさつ



キッズ・バリアフリー
理事長 末吉 理花

はじめまして。理事長の末吉理花（すえよし りか）です。

私の娘は中等度の聴覚障害があります。左耳の方が悪く(80db)障害者手帳交付内です。しかし、右耳は(65db)補聴器を装着しなければ会話ができませんが障害者手帳交付外です。この場合、聴力の良い方で診断され障害者手帳は交付されません。娘を出産した産婦人科には聴覚スクリーニングがなかった事と中等度聴覚だった事から障害の発見が遅れ3歳1カ月を過ぎた頃から補聴器を装着しました。ですから、言語に遅れがあります。子供の成長や言語習得に遅延はなく、積み残しの無いように経験と会話を沢山する事が必要です。結果にこだわらず大きな円を描くように根気よく上へ回ったり下へ回ったりして言語を習得します…思っているより上手いかないもので…娘も私も何度も涙を流し辛い思いもしました。

ひとつの単語を覚えるのに半年程かかります…

それを何万語も覚えなくては行けない。そして大きな問題が補聴器の継続的な購入です。将来、娘は健聴の方と一緒に面接し、健聴を理解して下さる職場に就職し、約5年で寿命が来る福祉対応用補聴器をずっと自己負担で買い続けなければならない。それを不安で無い親はきっといません。そんな事を考えている時、ふと思いました。健聴以外の障害にも、こんなケースがあるかもしれない。

草イスだって約2年の寿命…

医師が障害者と診断した障害を持つ子供達全てに何らかの助成制度が整う社会になればという思いでいっぱいです。子供達の生きやすい未来のために私にも何か必ず出来るはず。私自身が健康だという事はチャンスなんだ…
望みがあるのに行動しないのは、望んでいない事と同じだ…と思い
健常の子供達を育てているママ友に相談したのが出発地点でした。
娘のような問題を何とかしたいと活動されている方々も全国に広がり、
障害者手帳交付外の聴覚児の助成金を支給して下さいと自治体が全国の4分の1程度に広がっています。私達も、頑張りたい。

未来…障害を持つ全ての子供達に補聴器購入の助成金が支給されますように
現在…頼れる助成金の無い、今すぐ補聴器の必要な子供達へ私達の支援金が届きますように

未来は自分達の手で変えられる。

キッズ・バリアフリー誕生のお話し。

障害児であると医師から診断されても、軽度・中等度である場合など、「障害者手帳交付除外」となる場合があります。障害者手帳が持てない障害児がいます。

これは、行政からの、支援は受けることができず、定期検診費からはじめ補聴器や、草いすなどの補聴具は、自己負担となることを意味します。

中には、お金が用意できずに子供に補聴具を買えず苦しむ親御さん達もおられます。

そんな子供達や家族の負担を少しでも軽減する為に何かできることは無いのか？と有志の集まりで誕生しました。

キッズ・バリアフリーの活動目的。

医師から障害があると診断されながら、障害者手帳交付除外な為に支援を受けられない子供達がいます。そんな子供達や御家族の負担を少しでも軽くする事を目的とし、特に補聴具（補聴器、草イスなど）が必要な子供達へ障害者手帳交付と同じ支援内容を目指して活動しています。

同時にその子供達の将来にも目を向け、障害と向き合いながら成長し社会の一員として生きていく力を育てたいと考えています。

その為に必要な事の1つに理解者を増やすという事があります。理解者とは大人だけではなく、子供同士が理解し関わる事が一番大切だと考えています。

そして母親同士も共に理解しあえるように垣越の無い勉強会と障害の他、病や食品アレルギーなどにも寄り目日々様々な悩みながら子育てに奮闘する母親達が、悩みの共有や選好を取りやすいよう診断名に合わせて出会いの構築をする。「Joint ママ」という形での活動も行っています。私達の企画するイベントには様々な障害（障害者手帳の有無に関係ない）と向き合っている方々を含む全ての方々と活動を共にしています。

そして、障害者手帳交付基準の線引きが障害にあっていないケースや不平等な問題などのご相談をこちらのホームページより受け付け、一人でも多くの方に知って頂けるように発信していきたいと活動しています。

- 平成 25 年 8 月 21 日 「広報活動」インターネットラジオ、FM ギグ「まりことじゅんこのリッチハート」理事長末古出演。活動の紹介、支援のない障害児について問題と課題の発信。



- 平成 25 年 10 月 27 日 「懇談会・イベント活動」動物ふれあい体験
(32 名の参加・懇談会参加保護者 11 名) 新規入会希望者 6 名

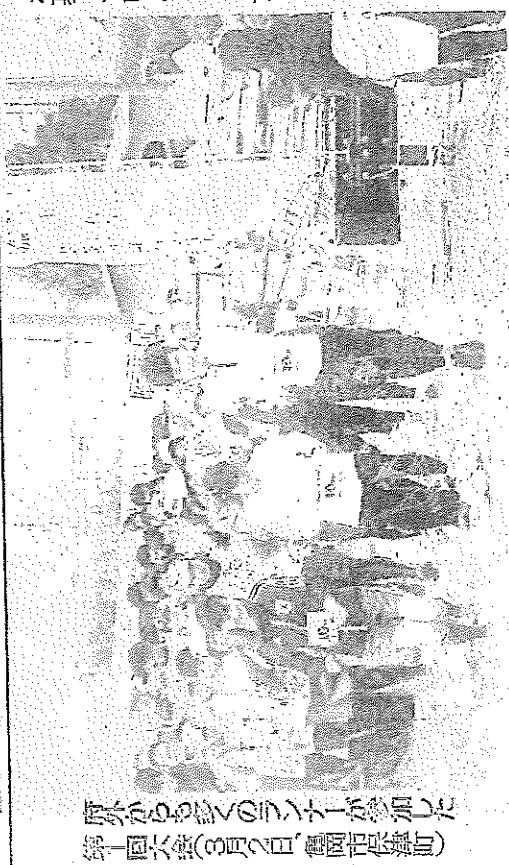


- 平成 25 年 12 月 23 日 「懇談会・イベント活動」クリスマス親子手作りパン教室
(47 名の参加・懇談会参加保護者 15 名) 新規入会希望者 7 名



- 平成 26 年 2 月 16 日 「広報・イベント活動」親子陶芸教室
(48 名の参加・団体の活動内容を聞いて下さった保護者 25 名) 新規入会希望者 7 名





原保から多くの子どもが参加した
第1回大会(3月2日、亀岡市保津町)

保津川環境、走って守ろう

亀岡で12月「チャリテイ・ファンラン」

参加費、保全活動資金に

参加費が保津川の環
境保全活動の資金にな
る「第2回ほつがわち
ャリテイ・ファンラン」
ンが12月1日、亀岡
市保津町の同川左岸で
開かれる。実行委員会
は「紅葉がきれいな季
節。川の風と風景を感
じて」と参加ランナ
ーを募っている。

NPO法人アロシ
エクト保津山」など
つくる実行委が開く。
3月に第1回があり、
市内外から350人が
参加した。参加費は「母
なる川・保津川基金」
に寄付し、環境保全活
動への助成金になる。
前回は30万円を寄付し
た。

10キロ、5キロ、2.5
キロ、ファミリーウォー
キングがある。コースに
応じて午前10時〜正午
にスタートする。実行
委の原田真美委員長は
「参加者を増やして大
きな大会にしたい。未
舗装だが車いすの人で
もOK。自由なスタイ
ルで、楽しく多くの人
に駆け抜けてほしい」
と呼び掛ける。

記念品もある。事
前エントリーは10月末
まで。定員500人。
参加費は大人2500
円、小中高生500円、
幼児800円。託児サ
ービス(先着10人、要
予約)もある。
申し込みは同ファ
ンのホームページな
どからできる。23日の
かめおか市民活動推進
センターまつり会場で
も受け付ける。ポラン
ティアスタッフも募集
中。問い合わせは実行
委事務局077-1
(20)2560。
(久保田昌洋)

丹後と協力二条元気に

中京の男性が物産展企画
魚介類や地酒など販売

京都市中京区の食品
卸売会社会長の高木誠
治さん(71)が、かつ
て丹後地方での物流の
経験だったJR三条駅
(中京区)一帯のいき
わいを取り戻す動きを
始めている。丹後地方
の特産品を生かしま
ちを活性化するのが狙
い。このほど同地方の
産品の販売会を駅近く
で初めて実施した。京
丹後市や宮津市など日
本海の魚介類に多くの
買い物客が舌鼓を打
った。
JR三条駅は190
4年に京都鉄道の駅舎
として建設された。
当時は機関車庫や貨

物施設が並び、丹後地
方の荷物が集まる拠点
だった。しかし、運送
の主流が自動車に変
わり、75年ころには駅
周辺の問屋や行商人の

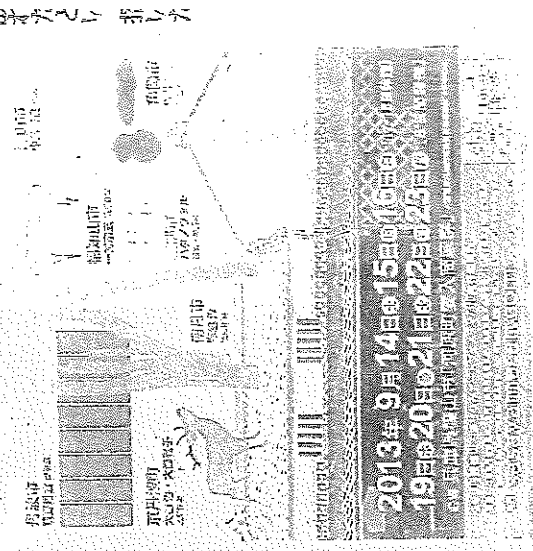
姿がなくな
う。販売会
が地域の賑
と、まちな
り戻そうと
「丹後あおま
光秀・幽霊
北近畿タンゴ鉄道(R
TR)の利用促進の一
環として、丹後あまつ
2号を使った「光秀・
幽霊列車」が25日、福知
山〜西舞鶴間で催され
る。郷土史家らでつくる
「丹後福知山明光秀公
研究会」が協力し、光秀
や細川幽斎のゆかりの地



丹波ゆかり

ベテランから

ARTAMBA 保津山
Artist Exhibition SASAYAMA
あまなみアート「丹波の国」を模写する「展」



2013年9月14日(土)15日(日)16日(月)17日(火)
19日(木)20日(金)21日(土)22日(日)23日(月)24日(火)
25日(水)26日(木)27日(金)28日(土)29日(日)

期間中は関連イベント
として、講演会やワー
クショップがある。問い合
わせは同ファンのエッセイ
実行委事務局の丹波古岡
館077-1(552)2
524。
(後藤史)

丹波地域の芸術作家が
参加する作品展のテラ
シン

福知山市
出身の書家
ん(74)よ
が同町二俣
館で作品展
る。自分
訓などを丹
いた。29日

京の支援学校生練習励む

亀岡で1日開催 ほづがわファンラン

12月1日に亀岡市で開催される「ほづがわチャリティ・ファンラン」に、脳性まひの障害がある京都市立西総合支援学校中学部3年の石井美樹さん(15)「京都市右京区」が家族とともに出場する。保津川河川敷コースは平たんで開催時間を気にせず走れることから、3月の初回大会に続き参加する。美樹さんは「がんばります」と練習に励む。

美樹さんは護生時に医師 学校では体力づくりのするなど、障害者が思いき師から「振けない」と言 ため、校内のマラソンたり走るには参加しにくいわれたが、療育などの効 けでなく、各地域で開か という。果て走れるようになっ れる大会への出場も勧め 父武志さん(43)が、母美奈子さん(43) ている。だが、高低が激 ほづがわファンランに周によると「走るのが大 好 しいコースは負荷が大 回コースで時間制限がな きで、クラスでも速い、最後屋で走っている い「フリー」部門がある方という。と後ろから追い立てられ ことを知人から聞き、初

平たんコースに再挑戦



ほづがわチャリティ・ファンランに出場する石井美樹さん(中央)と家族「京都市右京区」

だ、強風で気温が低かったため、実力は出し切れなかった。

美樹さんは大会参加で、いろいろなことへの挑戦に自信を持つようになったという。美奈子さんは「障害を気にせず、家族で走れる大会はほとんどない。家族で走るのを美樹も楽しみにしているみたい」と、当日を心待ちにしている。

ファンランは当日受け付けもある。10時、5時、2・5時、フリー、ウォーキングがあり、午前10時正午にスタートする。一般3千円、小中高生800円、幼児300円。問い合わせは実行委事務局0771(30)2569。

(久保田昌洋)

回大会に兄を含めた家族 両親が美樹さんの横に付 4人で出場。1時間ほど、きついながら走った。た

保津川沿いを元気に走り抜けるランナーたち(亀岡市保津町)



保津川保全 笑顔でラン

参加費が保津川(桂川)の環境保全に活用される「ぼつがわチャリティ・ファンラン」が1日、亀岡市保津町の保津川沿いなどで開かれた。市内外から大勢のランナーが集まり、青空の下、さわやかな汗を流した。

NPO法人プロジェクト保津川などで行く実行委の主催。今年3月の第1回に続いて開催した。参加費の一部が、亀岡や京都市などの市民グループが運営する「母なる川・保津川基金」に寄付される。今回は9月の台風18号の影響でコースに予定していた保津小橋が

亀岡でチャリティ

通行止めになったため、一部を変更した。10、5、ウォーキングなど5種目に約350人が参加した。雄大な保津川やのどかな田園風景が広がる一帯にコースが設定され、親子連れやお年寄りなど幅広い世代が笑顔で駆け抜けていた。(小池直弘)

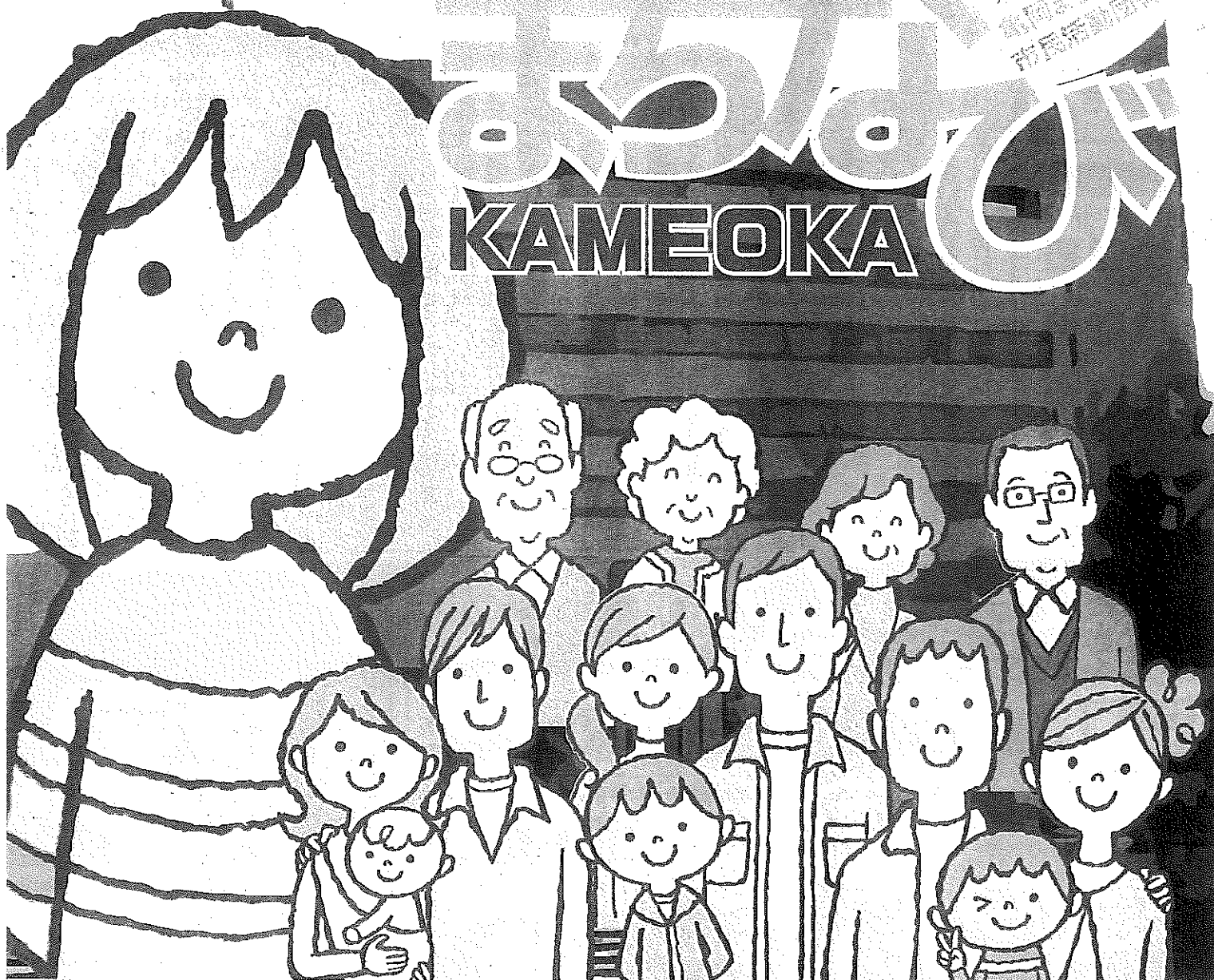
参加費の一部に基金 市内外から350人

TOTOU 花子ルカ子店 年中無休 7:00~21:00 五
アイサム株式会社 0120-704
〒471-1005 愛知県新城市大井町 電話 057-4301111 FAX 057-4301112
http://www.totou-ism.com/ 無料トラフィック分析ソフト

まちなび

KAMEOKA

亀岡市
まちづくり
市民活動団体



あなたの力を
地域のために
活かして
みませんか？



「亀岡まちなび」取材写真



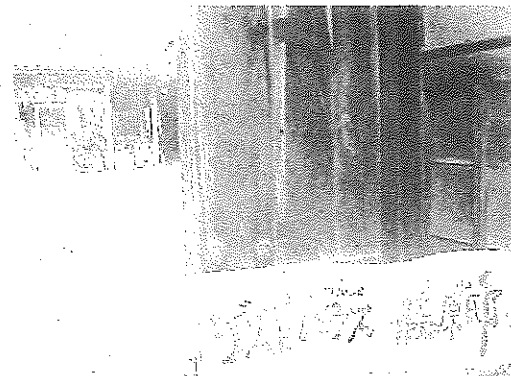
2014.1.7 東つつじヶ丘ふれあいセンター
(ほっこりサロンつつじヶ丘)



2014.1.7 ほっこりサロンつつじヶ丘



2014.1.7 ほっこりサロンつつじヶ丘



2014.1.8 ゲストハウス藤原邸玄関



2014.1.26 中島邸(亀岡発平成“ヨメ”学)



2014.1.26 中島邸



2014.1.26 中島邸



2014.1.26 てふてふあーむ

